

R01.05.26 第3回土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会 要約

No.	懇談事項	説明	担当部等
1 2	<p>(仮称)前潟駅の新設について</p> <p>交通対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月議会で、ごみ問題とまちづくりは別に進めると答弁していたが、一緒に説明すると誤解を与えるのではないか。</li> <li>■ 資料を別にしているから別の説明ということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前回の懇談会でもお答えしたが、ごみ処理施設とインフラ整備は別に進めるもの。まずは、全体でお話をして、次の段階では個別地区ごとに説明する。</li> </ul>	建設部
3	<p>上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用</p> <p>ア 地区計画の策定による総合的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区画整理組合の認可取消は、ごみ処理施設を建設するために行われたのか。</li> <li>■ 区画整理組合が施設候補地の情報提供しないこととした直後に、別人が情報提供した。この間の経緯について説明を。</li> <li>■ 上厨川地区の懇話会に市職員が出席しているが、どのような立場での参加なのか。</li> <li>■ 地区計画とは、ごみ処理施設ではなく、体育館や公園の計画との認識でいいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ごみ処理施設と区画整理組合の認可取消は別の問題である。</li> <li>■ 市では把握していない。</li> <li>■ 区画整理組合を指導監督する立場で、まちづくりに関する相談をしてきており、その一環として参加した。</li> <li>■ 地区計画では、ごみ処理施設にかかわらず、道路や公園などの施設をきめ細かく定めていくもの。</li> </ul>	都市整備部
	<p>イ 廃棄物エネルギーの利活用による地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域化は市で認めているのか。</li> <li>■ 整備候補地は浸水想定区域ではないのか。</li> <li>■ 懇談会の案内文に「廃棄物エネルギーの利活用による地域振興」とあるが、ごみ処理施設建設と読み取れない。</li> <li>■ 整備候補地の情報提供を求めたが、どのように周知したのか。</li> <li>■ 情報提供を求めた際に立地を避けたほうが望ましい区域のうち、主要道路から1km圏外とあるが、候補地は道路に近接している。アイオン台風で床上1m浸水しており適地とは言えず、要件に矛盾している。</li> <li>■ 広域化によって、ごみ集積場所が集約されるのか。</li> <li>■ ごみを減らす運動が必要ではないか。</li> <li>■ ごみを高速道路で運ぶのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域8市町の首長による会議で取りまとめた基本構想に基づいており、議会にも説明している。</li> <li>■ 浸水想定区域ではない。</li> <li>■ まちづくり懇談会のテーマの名称の延長であったが、案内について工夫していきたい。</li> <li>■ 公共施設の窓口への設置、ホームページ、広報等を通じて周知した。</li> <li>■ 道路に近いほうが収集の効率や道路整備の面で適しているとの考えから、主要道路から1km圏外は、立地を避けたほうが望ましい区域としている。平成25年の災害の際には、ダム機能が果たされている。</li> <li>■ 集積場所の集約を考えているものではない。</li> <li>■ 以前から地区ごとの懇談会を開催しており、2年前からは家庭ごみの地区別のデータを示しながら、ごみ減量について考えていただいている。</li> <li>■ 基本的には一般道で運ぶ。また、遠いところは、中継施設でまとめて大きな車に載せ替えて運ぶ。</li> </ul>	環境部

No.	懇談事項	説明	担当部等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一施設に集約するのではなく、隣接市町でまとめていくという進め方もあるのではないか。</li> <li>■ 6施設を集約して処理能力は大丈夫か。</li> <li>■ 反対する方は合理的な準備を。前回と同じことを繰り返している。</li> <li>■ 河川敷に野球場、サッカー場があり、そこに公害が及ぶのではないか。</li> <li>■ 雫石川の盛岡市の水道取水口への影響はないのか。</li> <li>■ 前回までの説明では、夢をいだかせるような内容だったが、なぜクリーンセンターの地域では反対なのか。</li> <li>■ 嘘の要望に基づく、ごみ処理広域化の計画は撤回すべき。</li> <li>■ 学校ごとのぜん息の罹患データを住民に提供したことがあるか。次回があれば、市内の小学校の気管支喘息罹患率のデータを配布してほしい。</li> <li>■ ごみ焼却施設は、住民からの要望として整備する形になるのか。</li> <li>■ 次回、以下の資料を示してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリーンセンターに近い米内浄水場で、ごみ焼却に関連して何らかの異常数値があるか。</li> <li>・ 市外でも構わないが、ごみ焼却場のそばの田や畑での異常数値があるか。</li> <li>・ ごみ焼却場のほかに喘息になる原因</li> </ul> </li> <li>■ 反対派は、市が準備した資料をしっかりと見ているのか。具体的に、簡潔に説明や資料を依頼すべき。</li> <li>■ 質問者は、同じ質問の繰り返しになっている。きちんと確認してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現在ある6施設の建て替え、3施設を建て替えなど、比較検討した上で1施設集約の方向となった。</li> <li>■ 人口減少等を勘案して計算した450トンに、災害対応分の50トンを見込んでいる。</li> <li>■ ごみ処理施設に隣接して、テニスコートなどが整備されているところもあるが、健康被害の例は聞いていない。</li> <li>■ 気体状のものは、上空の広い範囲で混ざって薄まっていくというのが自然の仕組みであり、そこに影響のない程度の濃度にするのが基準となっている。全国の焼却施設で健康被害の例は聞いていない。</li> <li>■ 1回目の説明会から2回目に移ろうとした際に、説明会の設定を受けていただけなかったもの。</li> <li>■ 盛岡IC付近は、情報提供があつて候補地にしたものではなく、候補地の絞り込みの段階で既に候補となっていたもの。</li> <li>■ 前回、松園周辺、土淵小中のデータを提供している。今後、必要なデータをお出ししたい。</li> <li>■ 基本的には行政側の判断で決定していく。その途中で協議、相談している状況。</li> <li>■ 次回、できるだけ取り揃えてお示ししたい。</li> </ul>	
4	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前回「反対する人には別会場で説明を。」という発言があつた。今回そのような発言があつたらどう扱うのか。</li> <li>■ 4月15日号の広報の予定表に、この懇談会は載っていなかったが、本日の懇談会は予定外の緊急の開催なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 賛成、反対を分けてという考えはない。両者から意見をいただくことで理解が深まると考える。</li> <li>■ 2年に1回各地区で開催している「まちづくり懇談会」とは別に、まちづくりについて一緒に考えていきたいという要望を受けて開催しているもの。</li> </ul>	市長公室

No.	懇談事項	説明	担当部等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農作業の忙しい中、急にこのような会を開催するのはいかがか。</li> <li>■ 住民のまちづくりを進めたいという意向と、市の懸案である広域ごみ処理施設建設を絡めて誘導する進め方は禁じ手ではないか。</li> <li>■ 土淵地域活動推進協議会で、環境問題に関する勉強会を開催する意向はあるか。</li> <li>■ 出席者は、息子さん娘さん世代の参加を促してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開催時期については、土淵地域活動推進協議会(以下「推進協」という。)の役員の方と相談の上で決定したが、忙しい時期の開催になり恐縮です。</li> <li>■ この会の進め方については、ごみ処理施設ありきの観点ではない。オープンな懇談会の場で、この地域全体の均衡ある発展について一緒に考える趣旨である。</li> <li>■ 推進協で、昨年5月22日に、土淵地区の均衡あるまちづくりについて、過去のまちづくり懇談会の要望事項を整理し、3つにまとめて市に対してお願いしたものを。</li> <li>■ 推進協としては、市に対し均衡ある発展のために、この懇談会の開催を要望し、市が応えたものと理解している。3つのテーマをセットにすることが均衡ある発展につながる。色々な意見があってもバラバラにはしたくない。ともにいい方向にもっていきよう議論していただきたい。</li> <li>■ 推進協として開催する考えはない。</li> </ul>	<p>柴田副市長</p> <p>推進協</p>